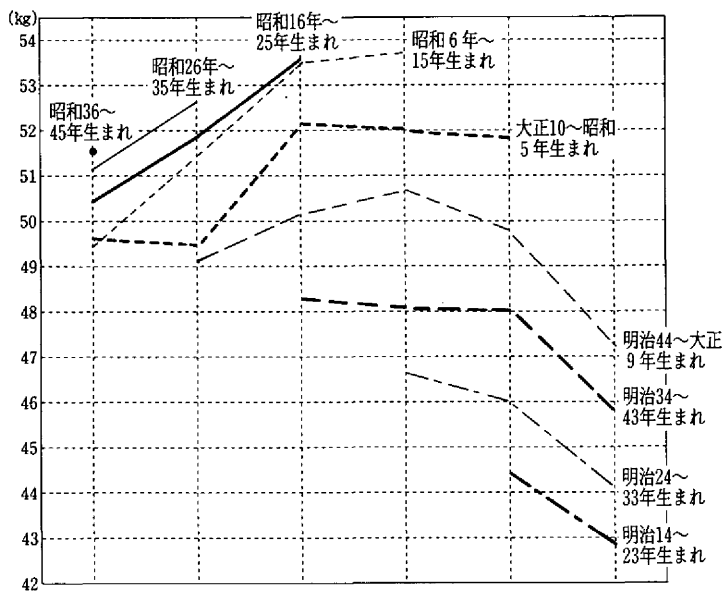


図27 出生世代別体重変動（女，年齢階級別）



	昭和25年調査	35年調査	45年調査	55年調査	平成2年調査
20歳代	49.7	49.4	50.4	51.1	51.6
30	49.2	49.4	51.5	51.9	52.7
40	48.3	50.2	52.2	53.5	53.6
50	46.7	48.1	50.8	52.0	53.7
60	44.5	46.0	48.0	49.8	51.9
70	41.8	42.9	44.1	45.8	47.3

5. 外食の状況

外食について年次推移をみたのが図28であるが、昭和40年には11.3%であったものが増減を繰り返しながらも徐々に増加し、平成2年には18.9%までになっており、男女別にみても同様に増加の傾向がみられる。

また、年齢階級別に推移をみると図29、30のとおり、男女ともに各年代において増加の傾向を示し、特に20～40歳代の伸びが大きい。

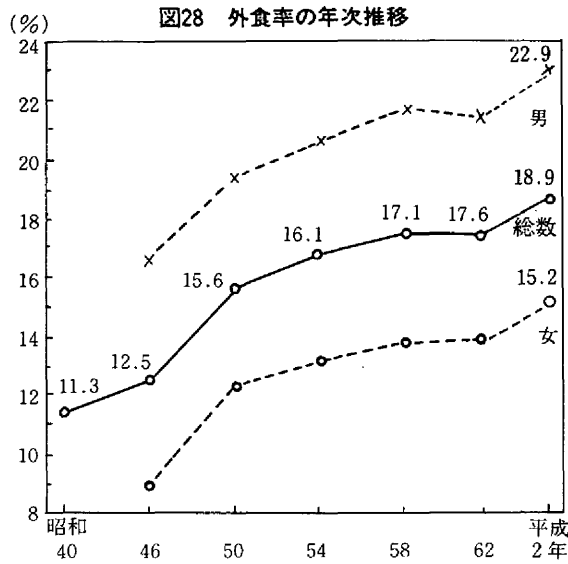


図29 外食率の年次推移(男, 年齢階級別)

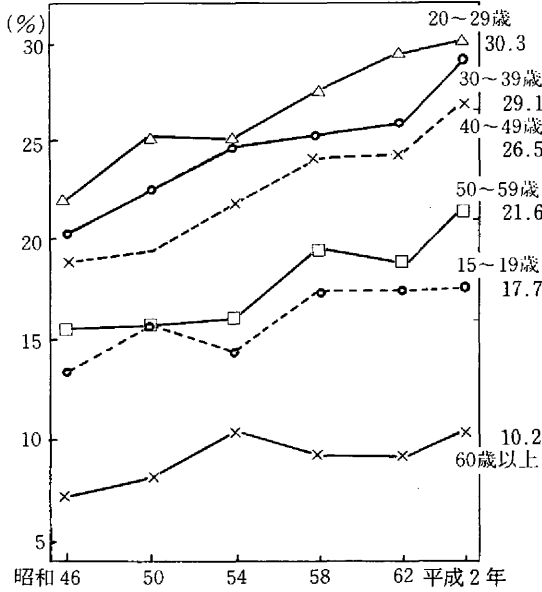
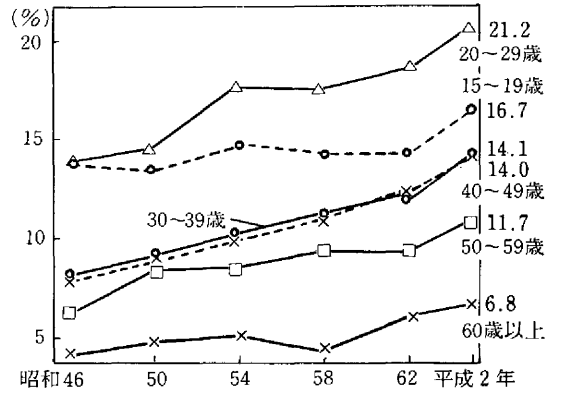


図30 外食率の年次推移(女, 年齢階級別)



6. 食生活状況

食生活状況調査の実施に当たっては事前に調査員が記入要領を説明し、記入してもらった後、回収した。被調査者のうち、満30歳以上の男女を対象として、食事のバランスや脂肪、塩分の摂取を中心にした質問調査を行った。回収された男性5,142人、女性5,955人、計11,097人の調査結果の概要は次のとおりである。